



生協ひろしま

# CSR Report 2025

2024年度の事業・社会・環境についての報告

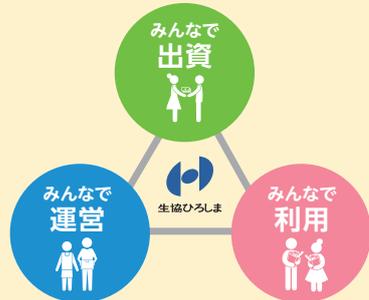


農業生産法人 株式会社ハートランドひろしま（就労継続支援A型）の皆さん（ハートランドアーティスト達）が描いた絵をモチーフにしました。

## 生協とは

生協とは平和でより豊かなくらしを実現するために、みんなでお金を出し合い(出資)、利用し、運営している組合員の組織です。

より良いものをより安く、安全・安心な商品の提供だけでなく、地域の皆さんと一緒に、平和・環境・文化・福祉などの様々な取り組みを通じて、誰もがくらしやすい豊かな社会の実現をめざした活動と事業を行っています。



組合員の利用で生まれた剰余(利益)は、以下の方法で分配します。

- 1 生協の将来の発展のために積み立てる
- 2 みんなで利用する  
宅配やお店を運営するために使う
- 3 組合員へ還元する

## 生協ひろしま2030年ビジョン

- 1 『つながり』を大切にする社会の実現
- 2 『安全・安心』にくらせる社会の実現
- 3 健康にくらせる社会の実現
- 4 平和をめざす社会の実現
- 5 生協ひろしまの未来を担う人材・組織の実現

## 基本理念

私たちは、協同の力でより豊かなくらしの創造と、平和な社会づくりに貢献します

## 21世紀ビジョン

日々のくらしに役立つ生協づくり



生協ひろしま 理事長  
宗本 干城

## 協同の力で平和でより豊かな社会へ

平素より、生協ひろしまの事業と活動に対し、格別のご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

本レポートを通じて、2024年度の私たちの取り組みをご報告させていただきます。

2024年1月1日に発生した能登半島地震では、輪島市や志賀町で震度7を観測し、甚大な被害が発生いたしました。追い打ちをかけるように9月には奥能登豪雨が発生し、被災者がくらす仮設住宅が浸水するなど、「地震」と「豪雨」の二重被災を受ける方が多数発生いたしました。未だに被災地の復興の足取りは重く、今もなお多くの被災者が厳しい避難生活を余儀なくされています。生協ひろしまでは、地震発生直後より「令和6年能登半島地震緊急支援募金」に取り組み、日本生協連を通じて被災地に義援金をお届けしました。また、8月には「ピースナイター」に被災地から10組のご家族を招待し、プロ野球の公式戦や宮島観光を楽しんでいただきました。11月には職員・組合員による「広島お好み焼き隊」を被災地に派遣し、コープやまぐち・コープおおいとと共に炊き出しを行いました。私たちは被災地というひとくくりではなく、そこにいる一人一人への支援が大切だと考えています。これからも顔の見える支援活動を継続して行っていきたく思います。

2024年10月には、ノーベル賞委員会より日本被団協にノーベル平和賞が授与されました。広島・長崎の被爆者による核なき世界をめざす草の根の活動が評価されたものです。私たちは被爆地ヒロシマにある生協として、広島県被団協と共に平和活動を重ねてまいりました。大変喜ばしい受賞であると同時に、日本が核兵器禁止条約に未だ署名しておらず、締約国会議へのオブ

ザーバー参加すら見送った現状には強い懸念を抱いています。現在、世界には12,340発の核弾頭が存在しています。そのうち「現役核弾頭」は9,615発あり、前年から32発も増加。さらに核軍拡が進んでいます。紛争が続く中、核兵器使用の威嚇も行われ、いつ使用されてもおかしくない危険な状況が続いています。このような情勢の中での平和賞受賞は、ヒロシマ・ナガサキの心を世界に広げ、連帯を呼びかける力になると受け止めています。被爆から80年、被爆者の平均年齢は85歳を超え、被爆体験を直接お聞きできる時間も限られてきました。私たちは被爆の実相と「ヒロシマの心」を次世代に伝える取り組みをこれまで以上に強めていきます。

2025年1月には、第二次トランプ政権が発足しました。「アメリカ第一主義」のもと、3月には相互関税政策が導入され、国際貿易の自由化は大きく後退しました。この影響は、自動車業界をはじめとする日本の輸出産業やサプライチェーンを混乱させ今後深刻な影響が予想されています。円安による物価高と相まって、私たちのくらしは一層厳しいものとなっています。こうした中、国連は2025年を「国際協同組合年」と定め宣言しました。2012年に続き2度目となるこの宣言は、社会の混乱や格差の拡大といった困難な時代にこそ、人と人がつながり、協同の力を発揮する協同組合の役割が重要であるという国際社会からの期待の表れです。

私たちは地域社会の一員として、組合員の声に耳を傾け、困りごとや要望に寄り添いながら事業と活動を進めています。しかしながら、私たちだけでは解決できない地域課題も多岐にわたりその解決に向けて、県内全23市町と連携協定を締結しました。協定を結ぶことがゴールではなく、地域課題の解決にむけ積極的にアウトプットを行い、実行していくことが重要だと考えています。組合員、ステークホルダーの皆さまと共に、くらしの願いを実現する取り組みを一層強めてまいります。引き続き皆さまのご指導、ご援助をよろしくお願いいたします。

# だれもが安心して暮らし続けられる地域と社会づくり



## 県内全23市町と包括的連携協定を締結

2019年3月に広島県福祉局との包括的連携協定をきっかけに、現在、県内全市町と包括的連携協定を締結。各市町と連携し地域課題の解決に取り組んでいます。



## 公共施設を活用した買い物支援

買い物が不便な地域の課題解決の一つとして行政と連携し、

### 県内4カ所の公共施設を

商品のお届け場所として活用し、注文商品のお届けを行っています。高齢者の外出のきっかけにもなり、住民同士の交流の促進にもつながっています。



## 移動店舗「ぷちこーぷ」

お買い物が不便な地域を中心に移動店舗を運行しています。現在**7台**の移動店舗車両が毎週**約350カ所**の販売ポイントを巡回し、**週約1,400名**の方がご利用されています。



## 顔の見える支援活動

2024年1月1日に発生した能登半島地震では、地震発生直後より「令和6年能登半島地震緊急支援募金」に取り組みました。

11月には職員・組合員による

「**広島お好み焼き隊**」を被災地に派遣し、あたたかいお好み焼きをふるまい顔の見える支援を行いました。



## 誰も取り残さないために

運営の厳しさが増す障がい者支援団体や作業所を支援するため障がい者支援募金に取り組んでいます。

2024年度は**2,410,461円**の募金の協力があり、きょうされん広島支部と障がい者支援団体へ助成金として贈呈しました。



## 隙間のない子育て支援事業

東広島市との包括的連携協定項目である子育て支援の具体的な取り組みとして、コープ東広島の敷地内に「放課後児童クラブ」、「子育て支援センター」、「すくすくサポート」(母子保健事業所)の3つの施設を設置し妊娠から小学校卒業まで隙間のない子育て支援を行っています。



# 健康づくりの取り組みを広げ、福祉事業・助け合い活動を進めます。



## くらしの助けあい

「くらしの助けあい」は身近な地域で、組合員同士の「助け合いたい」という気持ちを大切に、病气やけが・産前産後や高齢になり難しくなった家事、炊事を助け合う活動です。

2024年度は

依頼者数**995名**、

活動者数**935名**で

活動時間は

**5,724時間**となりました。



## 24時間365日必要な支援を

高齢者の不安やご家族の心配に寄り添い、住み慣れた地域で安心してくらし続けられる地域づくりをめざし医療生協の訪問介護と連携し、24時間365日必要な支援を行う定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所「生協ひろしま地域サポート廿日市」を運営しています。

2024年度は延べ**65名**の方がご利用されました。



開所1周年の交流会 (2025年3月)

## 認知症学習会を開催

認知症は要介護となる要因のひとつにあげられています。認知症とはどんな病気か?どのように対応すれば良いか?家族が認知症になった時の対応や介護支援制度についての学習会を開催しています。



## ひろしまGENKI体操を開催

認知機能向上を目的に広島大学と共同研究を進める運動プログラムひろしまGENKI体操を60歳以上を対象に

県内**6市町**、合計**21クラス**で開催しています。効果をカルテで確認することができ、参加者のモチベーションも高まっています。



# 核兵器廃絶と世界平和の実現をめざす活動を推進します。



## 17回目のピースナイターを開催

プロ野球の公式戦を通じて核兵器廃絶と平和の大切さをアピールするピースナイターを開催。始球式は広島県出身で被爆3世の元陸上選手、為末さんが行い、5回の裏には球場全体が一体となり平和をアピールしました。



## 日本被団協がノーベル平和賞を受賞

2024年10月、日本被団協にノーベル平和賞が授与されました。被爆地ヒロシマにある生協として、広島県被団協と共に平和活動に取り組んできました。この受賞を糧にこれまで以上に連携を強め、核兵器廃絶と平和な実現にむけて取り組んでいきます。



## 生協ひろしま碑めぐりガイド会

広島を訪れた修学旅行生や団体、組合員に平和記念公園や市内に点在する碑を案内し、「被爆の実相」を継承する活動を行っています。

2024年度は**170**の学校や団体、延べ**18,024名**にガイドを行いました。また、組合員対象の定例碑めぐりは**11回開催し77名**が参加しました。



## 折り鶴昇華再生事業

平和記念公園の原爆の子の像などには年間**約1,000万羽、約10t**の平和の折り鶴が捧げられています。折り鶴に込められた思いを昇華するため、再生商品化に向けた解体作業に取り組んでいます。

2024年度は22回の解体作業が行われ、**260kg**の折り鶴を解体しました。



## 被爆ピアノコンサートを開催

原爆の被害を乗り越えた被爆ピアノを通して、「被爆の実相」を継承する被爆ピアノコンサートを開催しています。

2024年度は県内2会場で開催し、**372名**が参加しました。



## 動画で伝える平和

平和の大切さを広く伝えるため、被爆体験や戦争体験の証言動画を作成し、YouTubeに公開しています。

2024年は呉空襲を体験した中峠房江さんの証言と活動をテーマに制作しました。



動画の視聴はこちらから▼



# 持続可能な生産と消費のために商品とくらしのあり方を見直していきます。



## 産直3原則

生協ひろしまの「産直」は産地と直結を意味します。

- ①生産者・産地が明確であること、
- ②栽培方法や肥育方法が明確であること、
- ③組合員と生産者が交流できることという産直3原則を基に、産直商品の供給を行っています。



## 生産者との交流イベントを開催

地産地消を推進していくため、産直商品を中心に生産者との交流会を開催しています。商品のこだわりや産地や生産現場について学び、組合員と生産者が意見交換を行うことで、商品の魅力を実感し、持続可能な供給につなげる活動を行っています。



## 商品の学び合い活動

組合員の声から選定した「学びあい商品」を商品活動委員会が中心となり、年間を通じて学習を行っています。商品の特徴やメーカー・生産者のこだわり、使ってみた声などを活動情報誌の「ワクワク通信」にも毎月掲載し、組合員にひろくお知らせしています。



「ワクワク通信」

## 声を生かした商品づくり

毎月1回のサイクルで、商品テスターとして選ばれた組合員が参加して、新開発や見直しをする商品の試食や意見交換を行う、「商品テスター会議」を開催しています。組合員の声を生かした新たな商品の開発や見直しが行われています。



## エシカル消費を推進

エシカル（倫理的な）消費とは地域や社会、環境や人々に配慮して消費行動を行うこと。生協ひろしまでは持続可能な社会と未来の実現のため「地域」「環境」「社会」「人々」の4つの視点を大切に「エシカル消費」を積極的に取り組んでいます。



## 自治体、学校、他企業と連携

広島市立広島商業高校が開発した「とろ〜り梅しょうゆ」と地産地消の食材を使ったコラボ弁当「おいししょう弁当」を共同で開発。開発に関わった生徒さんが、3店舗で対面販売を経験しました。10月から販売し、全店で**12,900個**のご利用がありました。



# 世界から飢餓や貧困をなくし、子どもたちを支援する活動を推進します。



## CO・OPサポートで子ども食堂を支援

子ども食堂が要望する商品を組合員に店舗や宅配のカタログから購入いただき、寄贈するCO・OPサポート(生協ひろしま独自のフードドライブ)に取り組んでいます。

宅配支所限定での取り組みでは

**586名、1606点、  
40万円**相当の  
ご協力をいただき、  
支援団体を通じて  
子ども食堂に寄贈しました。



## ユニセフ募金

生協ひろしまでは、1985年からユニセフ募金に取り組んでいます。  
2025年1月から2月にかけて「2024年度ユニセフお年玉募金」に取り組み、

**3,587,741円**の  
ご協力をいただきました。  
募金は、(公財)広島県ユニセフ協会を通じて日本ユニセフ協会へ贈られ、世界各地でユニセフが行う支援活動に役立てられます。



## ファミリーコンサートを開催

廿日市市・府中市で食育をテーマにした「ファミリーコンサート」を開催し、  
延べ**1,300名**が参加しました。

家族みんなが参加でき、歌や踊り、クイズなどを通して栄養バランスのとれた食事や、規則正しい食生活の重要性について楽しく学びました。



## CO・OP × レッドカップキャンペーン

レッドカップキャンペーンは2014年から取り組んでおり、

**対象商品1点**

購入につき**1円**が  
国連WFP(国連世界食糧計画)に寄付され、ミャンマーの子どもたちに学校給食を届けるために活用されます。



## コアノンスクールプロジェクト

CO・OPコアノンシリーズ

**1点**購入につき  
**1円**がユニセフを通じてアフリカのアンゴラ共和国に寄付され、教師の育成、安全な水の整備など子どもたちが楽しく学べる環境づくりに活用されます。



# ジェンダー平等(男女平等) 多様な人々が共生できる社会づくりを推進します。



誰もがイキイキと働ける職場をめざして 2024年4月、女性活躍推進法・次世代育成支援対策推進法に基づく取り組みについての行動計画を策定しました。

## D&Iワークショップを開催

10月、D&I(ダイバーシティ&インクルージョン)の理解を深める研修を開催し、役員を含む男女16名が参加しました。D&Iの基礎知識について学習したほか、グループワークでは現場の視点から積極的な意見交換が行われました。



## 女性幹部交流会に参加



11月、広島で「8生協女性幹部交流会」を開催し、各生協の女性幹部と役員44名が参加しました。交流会では業務での課題や思いを共有し、組織の多様性とジェンダー平等の実現に向けた意識を深めました。

項目	目標数値	2024年度実績
女性管理職比率	8.0%以上	9.9%
女性正職員比率	20.6%以上	19.0%

## 技能実習生を雇用

2024年1月、福祉研修センターに生協ひろしま初となるミャンマーからの**外国人技能実習生2名**を迎えました。



## 多彩な人材が活躍できる職場づくり

(株)ハートコープひろしまと(株)ハートランドひろしまでは、障がいがある方々の雇用促進と社会参加の支援を行っています。一人ひとりが働きがいを持ち生活面においても成長できるように支援しています。

生協ひろしまの障がい者雇用率  
**2.74%**

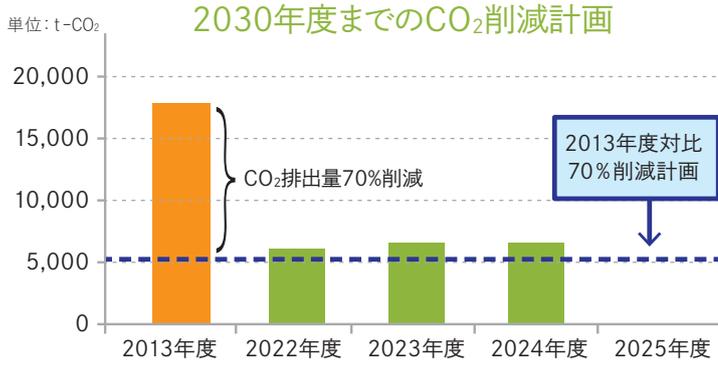


## 安心して働ける職場づくり

生協ひろしまでは、職員が安心して働ける環境を守るため、「カスタマーハラスメント基本方針」を策定しました。不当な要求や言動から職員を保護し、組合員と相互に信頼し合える関係づくり、お互いに安心して活動ができる協同組合組織の実現をめざします。



2030年度までにCO<sub>2</sub>排出量を70%削減します (2013年度対比)



2030年度までに70%のCO<sub>2</sub>削減に取り組みます。

2024年度は照明器具や設備の省エネ化、こまめな消灯に取り組み2013年度対比の削減計画に対して64.1%まで削減しています。

生協ひろしま5事業所の屋根に太陽光発電装置を設置しています。2024年度は629,684kWh/年を発電し、売電と自家消費に使用いたしました。



コープでんき

今日から一緒に 未来のためのエネルギー

累計契約件数が7,059件になりました。(2025年3月末現在)

より多くの方に「コープでんき」をご利用いただき、家庭から排出されるCO<sub>2</sub>排出量を削減することを目的に2030年には1万2千件の契約保有件数を目標に取り組んでいます。

協同のチカラでCO<sub>2</sub>を削減

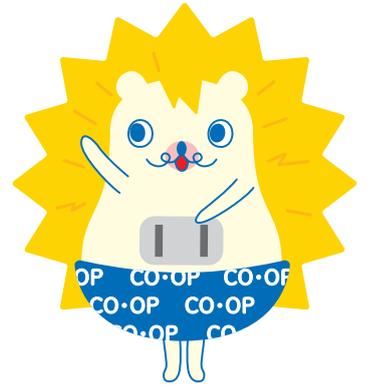
生協ひろしまの事業で70%CO<sub>2</sub>削減

2050年度までに100%CO<sub>2</sub>削減

組合員の「コープでんき」のご利用で

家庭のCO<sub>2</sub>排出量を1年間で

約20%削減



コープでんきのキャラクター「こぶでん」

コープでんき  
「こぶでん」  
動画紹介



※地域大手電力会社対比  
(年度により削減率は変わります)

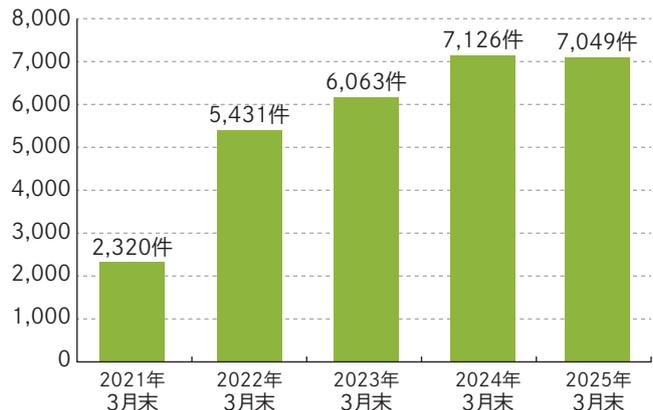
現在、計画を上回る組合員にご契約をいただいています。

契約組合員の声



「コープでんき」にして  
日々の生活でも  
環境について  
意識するよう  
になりました。

コープでんき契約件数の推移





### 電気、車両燃料等の使用量

項目	使用量	単位	前年対比
電気	11,606	千kWh	100.3%
都市ガス	20,609	m <sup>3</sup>	99.2%
LPガス	17,214	m <sup>3</sup>	112.3%
水道	63,672	m <sup>3</sup>	130.3%
車両(軽油)	432,832	ℓ	93.7%
車両(ガソリン)	447,698	ℓ	107.6%
注文書等商品案内	5,999	t	98.7%
シッパー内袋	196	t	97.5%
レジ袋	3.8	t	105.6%
トレイ	14.0	t	114.8%
ラップ(インスター)	8.6	t	100%

※水道使用料の増加は事業所の漏水によるものです。

### 環境保全コスト

生協ひろしまでは環境保全を効果的に推進していくため環境保全に負荷のかかる費用と効果の進捗状況を記録しています。

(単位:千円)

主な取り組み内容	22年度	23年度	24年度	前年対比
浄化槽の点検、グリスラップ清掃	2,736	2,812	2,863	101.8%
生ごみ、廃食油、魚残さのリサイクル	4,060	3,971	4,065	102.4%
一般・産業廃棄物の処理・処分、ごみ袋	27,294	26,860	26,423	98.4%
害虫駆除	2,712	2,722	2,941	108.0%
再商品化委託料	1,555	1,888	1,808	95.8%
合計	38,357	38,253	38,100	99.6%

主な取り組み内容	23年度	24年度	前年対比
食品リサイクル率	65.5%	60.7%	92.7%
レジ袋削減を推進(マイバック持参)	88.3%	88.7%	100.5%



### リサイクル推移

項目	回収形態	回収実績量(t)					前年対比	再生品
		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度		
飲用パック	支所・店舗	66.7	65.0	64.7	62.6	63.3	101.1%	コアノンロール
たまごパック	支所・店舗	49.2	48.8	42.6	51.5	29.8	57.9%	たまごパック
発泡トレイ	支所・店舗	16.9	16.9	17.2	18.3	19.9	108.7%	トレイ
透明トレイ	店舗	7.3	8.8	9.1	10.4	11.8	113.5%	トレイ
シッパー内袋	支所	46.2	43.1	45.5	44.9	49.1	109.4%	再生フィルム、文房具
チラシ類	支所	4,824	4,928	4,970	4,708	4,560.1	96.9%	チラシ
ペットボトル	店舗	21.3	23.9	25.8	22.5	25.1	111.6%	プラスチック原料
合計		5,031.6	5,134.5	5,174.9	4,918.2	4,759.1	96.8%	

※たまごパックはこれまでの排出量からリサイクル量に係数を変更しました。

### レジ袋削減を推進

全店で、組合員にマイバック持参の呼びかけを行っています。

2024年度の持参率は**88.7%**でした。



### 食品廃棄量の削減

各店舗から排出される野菜くずなど肥料にリサイクルすることで、食品廃棄物の削減に取り組んでいます。

2024年度の食品リサイクル率は

**60.7%**でした。



### 省エネ設備に移行

**全7店舗**の照明、ショーケースを省電力タイプに変更し、宅配を含む各事業所の照明設備のLED照明に変更しました。



<b>組織概要</b> (2025年3月31日現在)	<b>活動エリア</b> 広島県全域 (定款)	<b>出資金額</b> 136.6億円	<b>職員数</b>	<b>役員</b> 理事長 宗本干城
<b>名称</b> 生活協同組合ひろしま	<b>組合員数</b> 401,335名	<b>供給高</b> 497億1,473万円	<b>総合職員</b> 519人	<b>専務理事</b> 高浦美穂
<b>創立</b> 1984年10月(昭和59年)	<b>県内加入率</b> 31.9%	<b>福祉事業収入</b> 14億3,326万円	<b>専任職員</b> 358人	<b>常勤理事</b> 重津光彦
<b>本部</b> 広島市西区草津港2-8-42		<b>その他事業収入</b> 15億4,251万円	<b>パートナー職員</b> 563人	<b>常勤理事</b> 重信 均
		<small>※供給高は組合員との取引価格総額</small>	<b>福祉専門職員</b> 209人	<b>常勤監事</b> 波田啓継
			<b>ヘルパー登録者</b> 290人	

<b>組合員数</b>	<b>401,335名</b> (計画比 99.4% 前年比 100.6%)
<b>出資金</b>	<b>136.6億円</b> (計画比 100.4% 前年比 101.0%)

### 「声」を届けました。

- 【私もひとこと】**
  - 2,825件 ※注文書等での受付
- 【あなたの声いかします】**
  - 193件 ※店舗で受付
- 【こーぷぱれっとへのお便り】**
  - 2,129件
- 【ホームページ】**
  - 訪問者数/620,481件
  - メール/815件 (前年比116.7%)

## 2024年度事業状況

※数字は2025年3月末現在※供給高は組合員との取引価格総額

<b>供給高</b>	<b>497.1億円</b> (計画比 102.9% 前年比 103.6%)
<b>宅配事業</b>	<b>403億円</b> (計画比 102.3% 前年比 102.5%)
<b>店舗</b>	<b>93億円</b> (計画比 105.4% 前年比 108.2%)

**移動店舗**(ぷちこーぷ、ぷちこーぷミニ) 7台稼働中  
廿日市市・佐伯区・西区・安佐南区・安佐北区・東区・安芸高田市・呉市など359ポイントを配達

<b>供給高</b>	<b>1.40億円</b> (計画比 101.2% 前年比 108.0%)
------------	---------------------------------------

**福祉事業** **14.3億円** (計画比 102.5% 前年比 102.2%)

**eふれんず**(インターネット注文)

<b>供給高</b>	<b>68.6億円</b> (供給高に占める割合17%)
<b>会員数</b>	<b>104,613名</b>

**夕食宅配**(おもいやりコープ弁当)

<b>平均食数</b>	<b>3,410食/日</b> (前年比114.2%)
<b>供給高</b>	<b>6.2億円</b> (前年比102.1%)
<b>会員数</b>	<b>26,017名</b> (前年比 105.8%)

### 「お互いさま」の輪

**【くらしの助けあい】** (2024年4月～2025年3月)

- 活動協力金/2,402,270円
- 総活動時間/5,724時間
- 援助希望者数/延べ995名
- 活動者数/延べ938名

### 募金・署名に取り組みました。

**【募金等】**

- 平和募金 6,258,045円
- 障がい者支援募金 3,017,904円
- ユニセフお年玉募金 3,587,741円
- 令和6年能登半島地震緊急支援募金 34,250,543円
- 令和6年能登半島豪雨災害募金 17,599,880円
- もずく基金 780,692円
- コアノンスマイルスクールプロジェクト 17,038,080円 (日本生協連全体)
- ピンクリボン運動 1,495,002円 (日本生協連全体)
- 洗剤環境寄付キャンペーン 2,749,066円 (日本生協連全体)

**【署名】**  
障がい者福祉についての  
法制度拡充を求める請願署名 7,324筆